

## アテ（能登ヒバ）の抗かび性能評価

### 1 背景・目的

アテ（能登ヒバ）はヒノキチオールをはじめ、防腐・抗菌成分を含んでおり、腐りにくくシロアリにも強いことが知られている。また、これまでに能登ヒバ材（クサアテ、マアテ）としての耐久性や抗菌・抗ウイルス性能を明らかにしてきたが、抗かび性能については不明である。そこで、能登ヒバ材（クサアテ、マアテ）について抗かび性能を検討する。

### 2 技術のポイント

- (1) 5種類のかび\*<sup>1</sup>を対照材（スギ辺材）、クサアテ（心材）およびマアテ（心材）に接触させ、4週間後に対照材に対する抑制値\*<sup>2</sup>を求める。その結果、クサアテでは98.9%、マアテでは100%になり、高い抗かび効果が期待できる。（写真、図）

\*<sup>1</sup> 日本木材保存協会規格 JWPAS-MW(2011) 木材用防かび剤の性能基準及びその試験方法



写真 対照材（スギ辺材）\*<sup>2</sup>、クサアテ（心材）およびマアテ（心材）の材表面のかびの発育状況（4週間後）  
対照材にはかびの発育が見られる（黒枠内）

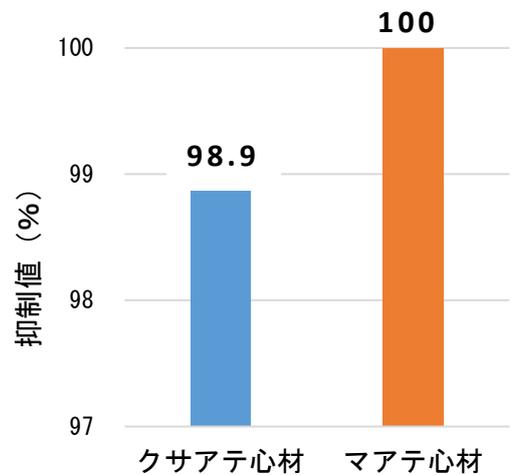


図 対照材に対する抑制値 (%)  
\*<sup>2</sup> 抑制値 70%以上で効果あり

### 3 成果の活用と留意点

- (1) 防かび剤や塗装等を施していない能登ヒバ材の抗かび性能評価を示すことができる。
- (2) 抗かび性能を生かした能登ヒバ製品の開発・普及が期待される。
- (3) 抗かび効果のさらなる長期的な持続性については今後検討していく。

問合せ先：資源開発部 TEL 076-273-1873  
担当者：小亀桃子